

少し考えてみました「ちよこっと名産～高碕翁」はどうでしょうか？まず①「じゃこ豆」:高碕翁が好み、古くからの高槻の味です。淀川で取れる「じゃこ」とあぜ道の「豆」で作られ保存食で健康食です。②「マイヤーレモン」:高碕翁が戦後にアメリカから日本に持ち帰ったもので、レモンとオレンジの味がします。果皮は薄くて香りが良く、皮ごと食べることもできます。「はにたんレモン」とでも銘打って、③「納沙布岬昆布」:納沙布岬は高碕翁が日ソ漁業交渉で漁民を助けた場所です。現地では毎年6月の出漁時に高碕翁の顕彰碑に感謝の意を示しています。北海道の名産で高碕翁の業績を振り返ることができればと思います。郷土おこしの一環とでもなれば……。 (馬淵)



高槻市観光キャラクター「はにたん」



■第五回高碕達之助研究会開かれる

8/6(月)高槻クロスパル Pm2:00 より高碕達之助研究会(角芳春代表)第五回“高碕翁の渡米(1911)から東洋製罐設立(1917)を経て満州重工業(1942)に招かれるまで”に至る内外の著名人との出会いやその影響(ジョルダン博士、アメリカ第31代フーバー大統領、小林一三、鮎川義介等々)について北川研究員(元茨校教師)に熱く語っていただきました。参加者は毎回増えて30人になりました。

満州に関しては我々が知らない出来事がいろいろあります。次回も満州に関して、高碕が日本人引き上げにどれだけ尽力を尽くされたかなど、続編としてお話していただきます。(宮本)



■「高槻市制 75 周年のあゆみ」講演

8/20(月)Pm2:00~4:00 クロスパル高槻第二会議室において、我が NPO 法人高槻名誉市民を語り継ぐ会(馬淵晴彦代表)にて後援する“高槻市政 75 周年研究会(中川修一代表)“第三回目高槻市の商業～商店街の発展～”が開催されました。講演は今年も高槻祭実行委員長として大活躍された中川修一代表自らが明治 9 年国鉄高槻駅(現 JR 高槻駅)、昭和 3 年阪急高槻町駅(現阪急高槻市駅)の相次ぐ開業やその後の駅前再開発や道路整備を通じ主に高槻センター街(旧新京町商店街)界隈の発展の歴史、また各商店の栄枯盛衰等をお話していただきました。



次回は 10/15(月)皆様どうぞ我が町高槻市の近代史の一端が、我が母なる川“淀川の水”が大阪湾へと流れ、やがて瀬戸内を越え世界的大海へと注ぎ込むように、世界のあらゆる歴史や文化と深く関わる事が眼から鱗が落ちるように楽しめる勉強会にご参加下さい。(宮本)

■“高碕達之助に学ぶ会”の平成 30 年度総会が行われる (我が会が運営お手伝い)

8/6 クロスパル会場にて Pm3:30 より開催され会則、事業計画案、収支計画案、各役員選任の承認の件が出席者全員の同意の上承認されました。具体的な事業計画は、①「高碕達之助の功績」展示会、②「高碕達之助研究会」の毎月の開催、などであります。

■高碕達之助研究会予定 於:クロスパル高槻

回	日	題目	講演者
7回	10/1	満洲時代の高碕翁	北村正信氏 (元茨高教師)
8回	11/5	納沙布岬を訪ねて	宮本研究員
9回	12/3	高碕翁の功績	お客様講師

■稲穂塾くすのき倶楽部で講演行う

8/22 真上公民館で「高槻を愛した先人たちの功績と高槻史」でお話させていただきました。「高槻稲穂塾」は高槻市立公民館すべてで開設されています。今回真上稲穂塾は 50 人ほどの方が参加され、8割は女性でした。

1部では馬淵が名誉市民の磯村翁を中心に「高槻市誕生の功績」をさせていただき、2部では中川理事が歴代の市長の功績をあげ、高槻史を話させていただきました。(馬淵)